

訪問看護師としての専門的能力												
利用者・家族の生活を見ることができる												
37	生活重視	利用者・家族の価値観や生活様式を受け入れる			○							
38	生活重視	治療優先でなく、生活を重視する	○									
39	意思尊重	サービスの実施に当たり、利用者の権利を守り、個人の意思を尊重する			○							
40		看護者の倫理綱領を理解する	○									
41		利用者・家族に対する説明責任をはたす		○								
42		利用者・家族の人権や自由がおかされることに対して完治し報告する					○					
43	家族の健康	家族の健康に気を配り、健康管理や日常生活のアドバイスをする			○							
説明することができる・聴くことができる												
44	概要説明	ステーションの概要、重要事項説明書・契約書内容・利用料金について理解する			○							
45		提供する看護の内容を事前に分かりやすく説明する					○					
46	指導助言	在宅療養に必要な教育指導を利用者・家族に行う					○					
47	相談対応	利用者・家族からの相談に適切に対応する						○				
48		相手の立場に立って、利用者・家族の話を聞く		○								
49	カンファレンス	利用者・家族に関する事柄について、カンファレンス等で適切に説明する			○							
50	訪問前準備	利用者個別に訪問の目的を理解する	○									
51		必要な情報を収集し、具体的な目標を設定した看護計画を立てる	○									
52		訪問先・訪問予定を確認して、必要な情報をもとにその日の援助計画を立てる	○									
53		訪問看護に必要な物品や身支度を事前に整える	○									
54	療養上の世話	訪問看護計画に基づいて療養上の支援(世話)を行う		○								
訪問看護サービスを提供することができる												
55	看護技術	訪問看護に必要な最低限の看護技術を身につける			○							
56	感染管理	安全に感染予防及び医療廃棄物の取扱いを行う		○								
57	環境整備	利用者の居室の生活環境(光、音、温度等)を整備する	○									
58	訪問後対応	訪問後の物品片付け、衛生管理を行う	○									
59		訪問後に事業所内・他機関に報告・申し送りをする	○									
60	安心・安全	利用者・家族の安心・安全・安楽を念頭に置いてケアを提供する		○								
61		緊急時の手当の方法、連絡方法等を理解する		○								
62	夜間対応	訪問看護ステーションの利用者全体の状況を理解し、夜間の携帯当番を担当する					○					
63	判断	全身状態や生活の仕方、利用者の反応等を総合的視野から状況判断する					○					
64	予防	利用者の病態から予測される問題に予防的に対処する					○					

地域のお機関の機能を理解し、連携することができる												
66	地域の理解	地域の保健医療福祉機関・サービスを把握する		○								
67		地域の中での訪問看護ステーションの役割を理解する			○							
68		地域内の他機関・他職種の専門性を理解し、尊重する					○					
69	地域連携	訪問看護の経過等を必要時、主治医に正確に報告・相談する			○							
70		利用者の入退院時に、医療機関・その他の機関と連携する			○							
71		介護支援専門員と連携・調整を行う				○						
72		その他の関係機関との連携や調整を行う					○					
情報管理を適切にすることができる												
73	記録	訪問看護記録・報告書・計画書を適切に書く	○									
74		訪問後、速やかに訪問記録をつける	○									
75	個人情報	個人情報保護の必要性を理解し、情報を適切に管理する	○									
76		利用者に対し、適切な情報提供を行う	○									
77		プライバシーを保護して医療情報や記録物を扱う		○								
78		看護記録の目的を理解し、看護記録を正確に作成する。	○									
79		情報を整理し適切に保管、活用する	○									
80		組織としての個人情報流失に配慮し、適切に管理する。	○									